

「賛助会員の会」会長
(株)ジェイテクト 林田 一徳



このたび前任の丸山会長の後任として 2021 年精密工学会「賛助会員の会」の会長を拝命しました(株)ジェイテクトの林田でございます。次回の総会までの 1 年間、運営委員長の白瀬先生(神戸大学)をはじめ幹事・委員の方々と連携し、「賛助会員の会」ならびに「精密工学会」の発展に尽力したいと存じます。引き続き会員の皆様方のご指導、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

さて、精密工学会は学術的側面として、研究者・技術者などの会員相互の交流による切磋琢磨・研鑽の会(場)であります。もう一つ、産官学の交流・協調という側面もあり、こちらはこの「賛助会員の会」が大変重要な役割を果たしていると考えております。学会活動を通じての賛助会員相互の交流、学会の重鎮・幹部の

方々との交流、さらにはニューテクノロジーフォーラムの企画・推進、中小企業に対する“ものづくり賞”の選考・授与などがそれに当たります。

一方、世の中の動きに目を移してみますと、昨年からの新型コロナウイルス感染症はいまだに皆様の生活をはじめ産業界・社会に大きく影響を与えている状況です。また昨年 10 月には、菅首相より 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという「グリーン社会の実現宣言」が出されました。その後の 12 月には経済産業省から「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が出されるなど、環境・エネルギー関係で大きな動きがあり、各種産業界に大きく影響を与えることが起こりつつある状況かと思えます。

このような社会の動きやコロナ禍の状況を鑑み、「賛助会員の会」としましては、「精密工学会」と連携・協調を更に密にし、タイムリーなテクノロジーフォーラムの企画、リアルとバーチャル(オンライン)を上手く活用し賛助会員相互および会員とのより深い交流を図るなど新たな「賛助会員の会」の運営を目指して行きたいと存じます。

今後も会員の皆様方の積極的なご参加を期待しますとともに、企画・運営面に対しましての忌憚のないご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。